

市民からのお便り (親子クイズ) お父さんとお姉ちゃんと一緒に答えを考えました。パズルやクイズは楽しいです。

会場の中心の野村慎子さん(前列中央)は「寂しい話は嫌。賑やかな話が好き」とのこと。そんな野村さんの人柄に、皆さんが惹きつけられ、集まっているんだなあと感じました。



話したら止まん♪

火曜会の皆さん
(十市)

にっぽんライフ 188



いつも6〜7人ぐらいで集まって、お茶を飲みながら、政治や芸能、その他もろもろいろいろな話でワイワイと盛り上がっています。
集まり始めたのは13年以上前になります。最初は2人だったのですが、たまたま家の前を通った友人を誘ったりしているうちに、いつの間にか人数が増えていました。集まる日も、特に火曜日に限定していた訳ではなく、みんなが来られる時に来ていたのですが、曜日を決めた方が、みんなが揃って集まりやすいということになり、火曜日に集まるようになりました。
メンバーの何人かでコンサートへ行ったりしたこともあります。が、やっぱりみんなでお茶を飲みながら、とりとめのない話をしていての方が楽しいですね。女性だけの集まりなので気兼ねせず、何でも話せます。
火曜会の「火曜」は、毎週火曜日に集まっているということから付いた名前ですが、みんなで集まっていたいろいろな歌を歌っている「歌謡」とも掛けています。自分たちで歌って、自分たちで拍手をして、家の外に声が聞こえるくらい賑やかですよ(笑)。

親子クイズ 526

Q 2015年の英語の言葉には「うれし泣きの顔」の絵文字が選ばれました。下の□に一字入れて、勉強の科目を英語で書き、答えの欄を埋めてください。

うれし泣きの顔 Face with 1 2 3 4 5 of 6 7 8

- 図工 : ar 1 s and c 4 afts
- 理科 : sci 2 nce
- 算数 : m 3 th
- 音楽 : mu 5 ic
- 国語 : 6 apanese
- 社会 : s 7 cial studies
- 体育 : P.E. (ph 8 sical education)

【第525回解答】
旧正月

【第525回当選者】
川上 りん (岡豊町)
久保 由美子 (前 浜)
小松 豪 (比 江)
筒井 仁司 (大桶甲)
西森 幸子 (左右山)

■応募締切/3月14日(月)必着
■あて先/〒783-8501
南国市大桶甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係
*はがきで応募
■賞品/正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数/128通 ★正解率/91%
親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

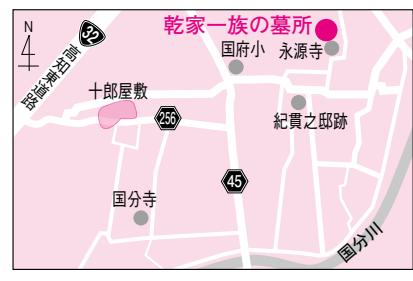
なんこく歴史散歩 第39回

関ヶ原の合戦のあと、土佐藩主となつた山内一豊に伴って土佐へやってきた重臣の一人に、乾和三がいます。和三是土佐に入国後、家老として国分・比江・植田に四千五百石の領地を与えられ、国分寺の北に屋敷を構えました。この地は「十郎屋敷」という小字が残っており、長宗我部の時代には比江山掃部之介の所領でしたが、乾家が屋敷を構えたことから、お屋敷と俗称されるようになったようです。
また、比江山の中腹には、乾家の菩提寺として永源寺を建てています。永源寺は、国分跡や紀貫之邸跡などの国分川沿いの平野を見渡せる眺望のよい高台にあります。この寺の後ろには、「乾の大墓」といわれる巨大な墓碑の立ち並ぶ乾家の墓所があります。
丸みを帯びた円柱状のものは、墓石の形状から卵塔とも呼ばれています。



乾家一族の墓所

乾家隆盛の歴史



この巨大な墓石は、摂津(大阪府)から船で運ばれ、大津で陸揚げのち、比江に運ばれたと言われています。初代和三、2代和成、3代信勝、4代信和、5代和好にわたる10基の大墓碑が並び、乾家の隆盛を物語っています。
幕末になり、一族から高知城下で乾栄六の長男として乾退助、つまり後の板垣退助が誕生します。
この墓所は板垣退助の先祖の眠る所とも言えます。

■問い合わせ
生涯学習課文化財係
880-6569
1月号のおわびと訂正
第37回の下段9行目に誤りがありました。おわびして訂正します。
誤 25代(約50a)
↓
正 25代(約5a)

60 人権学習シリーズ

「人のためになること」

日頃、仕事に追われているときには、退職したら、出来なかったこと、諦めていたことができる...と思っていました。実際にそうした日が近づいてくると、自分が何ができるだろう、そもそも何か出来るのだろうか...と不安がよぎってきています。
そうした時にインターネット上で、「次の夢に向かって...」という記事がありました。その方は何とか、人のためになる仕事をしたいと思っているそうです。希望している仕事は、確かに人助けの仕事ですが、競争率も高いのです。励ます意見などが色々ありましたが、私は「そもそも仕事で人助けにならない仕事があるだろうか? 犯罪などは別として」という趣旨のコメントを見て考えさせられました。
例えば、災害や事故などの際に人を救助するのは人助けの仕事ですが、そうした人助けをする人々の食事を作る仕事、販売する仕事、救助活動を支える車を作る仕事、道を作る仕事...と考えていけば、おそらくほとんどの仕事がその仕事をしている本人が意識しているかどうかは別として、人を助け、

※このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

退職後、どうするのか、答えが見つかったわけではありませんが、自分がやってきたこと、やり残していること、した方がよいこと、やりたいことを考えながら、肩ひり張らずに少しずつ歩いていこうと思います。

支えているのだと思います。つまり、「人のためになる」仕事があるのではなく、色々な仕事によって現代生活が実現しているのです。私も何か人のために恩返しをしたいと思います。けれど、「人のためになる」ということは仕事に限りません。色々なことを通じて人は助けたり、助けられたりするのだと思います。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
880-6569